

2007年4月に県議会の任期が始まりまして2回目のお正月を迎えました。厳しい景況感とそれに伴う雇用問題など問題山積です。そろそろ任期も折り返しが近づいておりますが、「県民目線」全力で頑張っております。

## たけい俊輔 日々の取り組み ～身近な県政を目指して～

### 街頭演説



私の活動の原点です。視察などの業務のない限り実施しています。いつもの橋橋北詰・岩切章太郎像前はもちろん、休日はイオンショッピングセンターや旧3町などでも実施しています。車にはスピーカーと“ノボリ”を積んでいて、時間があれば辻々で行っています。

### 各種相談

横断歩道、交差点、雇用関係、医療関係、ゴミ問題、堤防の洪水対策・・・選挙区内外を問わず、毎日様々な相談が舞い込みます。



そこには多くの悩みや苦しみがあります。もちろんできること出来ないことはありますが、一つ一つ丁寧に取り組んでおります。

### イベントや各種行事参加

えれこっちゃん宮崎、宮崎八幡宮夏越祭り、神武大祭、青島えびパラまつり、地域のイベント・・・



今年も様々なイベントにボランティアスタッフやキャストとして参加しました。また、宮崎神宮の各種例大祭、消防団関係、防災訓練、道路の開通式など各種行事も目白押しです。週末のほとんどはこのように過ごしています。

### たけいと語るティータイム

県庁や県政報告会には来づらいという方も少なくないかと思えます。そのためカフェで気軽に話していただけるティータイムを昨年秋から実施しています。(現在3回開催)  
“お茶飲み”感覚の気軽さで大好評を頂いています。今年は、定期的な開催を目指してまいります。



### たけい俊輔ブログ

日々の思い、活動記録などを毎日掲載しています。おかげさまで出馬表明以来75万件ものアクセスを頂いております。  
励ましのメールも多数いただいております。大変励みになっております。右のコードで携帯電話からもアクセスできますので、ぜひご覧ください。



### 県政報告会

昨年は旧3町も含め12回開催しました。私の思いをお伝えすることはもちろん、積極的な意見交換をすることができ、私自身も大変参考になりました。  
今年はよりペースを上げて開催してまいります。数人単位でも構いませんので、お気軽にお声掛けください。



### 「愛みやセミナー」

6月に宮交シティで開催しました。「愛みやざき」4人で持ち回りで開催しており、今回も300人以上の方にお集まり頂きました。それぞれの思いを熱く語らせて頂きました。  
今年も開催する予定にしておりますので、ぜひお越しください。



## 2009年 たけい8つの目標

- いままでの議会で取り上げた内容を再検証する。
- 宮崎県と宮崎市のより良い関係づくりに努力する。
- より細かく地域を回り、お声を伺う。
- 県政報告会、たけいと語るティータイムを積極的に実施する。
- 街頭演説をより高密度に実施する。
- 高校生や大学生との協働を通じ、政治や行政への関心を高める。
- 条例の制定など具体的な政策効果を出す。
- 適切な運動や休養、食生活に注意し、健康管理に努める。

以上の目標に沿って今年は努力して参ります。もし不行き届きの点などお感じの際がありましたら、ぜひ叱咤激励をお願いいたします。

## 様々な諸課題・たけいの思い

### 議員定数削減・選挙区問題

自民党の強行採決により2月議会には条例化の方向になっていますが、議員定数は39議席、選挙区は原則現在の選挙区を踏襲することになりました。  
私が選出させて頂いている宮崎市選挙区は現在の12議席が11議席になります。清武町が合併した場合は清武町を含めて12議席になりますが、いずれにしても1議席削減になります。さらに厳しい選挙戦になりますが、一生懸命頑張っております。

### 雇用問題

大変厳しい状況が続いております。私も昨年からは選挙区内外を問わず訪問し、転勤を余儀なくされ退職すべさかというご相談や、請負業務契約を解消され会社としての存続が危ぶまれている会社など切実な声を数多く聞いております。  
やはり、今回の問題で企業誘致を中心とした雇用政策は改めていく必要があると考えます。地場企業の振興はもちろんですが、起業支援をどう積極的に進めていくか、この方向で戦略を改めていくべきであると考えております。

### エコクリーンプラザみやざき問題

ずさんな工事により、汚水を貯める漫出水調整池が破損し漏水していた件で、昨年は地域住民の皆様をはじめ多くの市民の皆様にご多大の不安を与える事態になってしまいました。  
昨年はこの問題を議会でも取り上げましたが、外部調査委員会の結果を踏まえ、13億円を超える補修費用が発生しております。  
これについて、宮崎県と宮崎市の見解が大きく異なっております。県議会と市議会においても厳しい対立モードとなる恐れがあります。宮崎市選出の県議として、“市民であり県民である”皆様の生活を大事に取り組んでまいります。

### 農林水産業政策



一次産業は“競り”というシステムの中で、自らの価格決定権が乏しい業界であります。私は「食の確保・食の安全対策特別委員会」に所属し地産地消の推進などによる競争力の強化をうたっておりますが、それにより農家・漁業者収入が上がっている部分とは一概にいえません。コンビニやファミレスなどでの地産地消も推進し、実効性のあるものにしていくべく提案して参ります。

### 観光・スポーツランド政策



東国原英夫知事のブームも2年目になりましたが、まだまだ県庁は多くの人で賑わっています。しかし、ソウルや台湾の国際線もまだまだ厳しい状況ですし、巨人キャンプも一部沖縄移転というスポーツランド宮崎の根幹を揺るがすような事態も起こっています。  
とはいえ、青島再開発など明るい話題もあります。この青島の有る地のあり方について積極的な活用を図る必要があります。青島の皆様や宮崎市とも連携しながら、最後の機会を逃さず積極的に取り組んでいきたいと思っております。

### 橋通2車線化、地域コミュニティ税について



宮崎市政の課題ですが、市民の皆様の生活に大きくかわる問題です。2車線化については明確に反対を致しております。市民の利益にはなりませんから、いったん白紙に戻し、2車線化を前提としない公園化を進めるべきです。  
コミュニティ税については、地域にお金を配分することは、あってよいと思いますが、税金として取ること自体に市民の皆様の広範な理解が得られている状況にあるとは言えません。  
ます新税自体は一度凍結し、ハード整備の抑制など進める必要があると考えております。



代表あいさつ

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。私たち「愛みやざき」4人のメンバーも議会活動3年目を迎えることとなりました。

県議会改革と、地方分権のより一層の推進とを目指し誕生した「愛みやざき」です。「県民の目線で地域の声を県政に反映」することを目標に頑張っていますが、この当然のことがいかに困難かを痛感した2年間でした。手がかり足がかりがつかめず苦悩すること度々です。しかし皆様の力強い励ましを頂きながら、一歩づつ着実に前進させていきます。特に議会改革では、政務調査費の支出透明化や応召旅費減額の見直し、そして議員定数の削減などで成果を得ることができたと考えます。しかし、まだまだ、雇用をはじめ、県政の課題は山積みです。今年も皆様の目線で挑戦し続けます。どうぞご期待下さい。



右から2番目が松田勝則代表

総括質疑



19年度決算に対する総括質疑を行いました。今回は不適正な事務処理(いわゆる裏金問題)の残金が含まれていることなどを中心に質疑を行いました。問題点を問う「質問」ではなく、過去の決算を確認する「質疑」ですから、なかなか突っ込んだ議論ができない部分はありましたが、知事や執行部のみならず監査報告などに対する質疑も監査委員に対し行いました。

そもそも行政と民間の違いは、昨年度の決算を翌11月に審議します。すなわち、前年度の決算が次年度の予算に生かされないのです。これでは、決算審査が形骸化してしまうといわざるを得ません。次年度以降は、予算に反映可能な9月議会での審議が見込まれますので、多少は状況も変わってくるかと思えます。

今回の質疑での課題を、次回の2月議会での新年度予算審議にしっかり活かしていくべく、今後も検証を続けてまいります。

決算特別委員会

各委員会で昨年度の決算が審議されました。不適正な事務処理(いわゆる裏金問題)の残金が含まれた商工建設常任委員会、環境農林水産常任委員会では「愛みやざき」は金額の多少に関わらず、事実を重く受け止めるべきとの結論で「不認定」することを決めました。

しかし、環境農林水産常任委員会は松田議員が反対しましたが、自民党の賛成で「認定」となりました。商工建設常任委員会では、武井議員も含めて全会一致で「不認定」となりました。その結果、議会最終日の本会議でも「不認定」となり、3年連続の決算不認定となりました。今後も、このような問題が二度と起こることのないように執行部へのチェック機能を強めてまいります。



12月一般質問

子育て世代の一人、また若年層の一人として質問しました。

父子手帳の導入についての提案(問)社会全体で子育て支援を行うために父親の育児参加が重要ですが、愛知県、栃木県などでは父親の子育て支援のために「父子手帳」を、作成配布しています。

父子手帳には、お父さんができる子育て参加や産前産後のお母さんへの気遣いなど詳細に記されており、本県も導入してはいかがか?

(答:知事)父子手帳は、男性が子育てを行う上で、ひとつの効果的な手法だと思う。県としては父子手帳をはじめ、男性の育児参加に関する様々な意識啓発の取り組みを市町村に紹介し、広げるとともに、県として何が出来るか検討していきたい。

非正規雇用社員の失業対策(知事に要望)現在、非正規雇用社員の解雇が大きな問題となっております。製造業全体が厳しい状況から、さらなる失業者も予想されます。その非正規雇用者のほとんどが20~30代の若年層であり、今後「派遣社員」というシステム自体をどう変えていくのか、国の補正予算だけでは対策は不十分だと考えます。知事会等を通じ、国に対策を訴えていただきたい。

西村賢



図師博規

児湯郡選出

デンマーク研修で学んだ福祉制度を本県行政に反映させるべく政策提案をしました。問:県内の公立病院では23名の医師が不足している。地域医療を守るため命を守るための目的税を導入してはどうか

知事:地域医療目的税導入は、県民の合意形成などの課題があり、難しいと考える。

問:デンマークでは24時間医療・看護・介護の供給体制が整い、在宅で看取ることが一般的となっている。まず、本県でも終末期について事前にどのような治療を望むか書面に書いておく「リビングウィル」の制度化に取り組んではどうか。

知事:終末期医療は自己決定に沿った内容が提供されることが重要だが、リビングウィルの取扱いが国で検討されており、現段階での県独自の制度化は困難と考える。

反対討論

「子育て世代」愛みやざきを代表し、第5号議案に対し反対の討論を行いました。

この議案は、県立病院において平成21年1月1日より、(出産の)分娩料をさらに5万円値上げしようというものです。そのうち3万円は国の「産科医療補償制度」の創設によるものでありますが、「産科医療補償制度」導入は産科医の現状を考え、産科医を守り、また脳性まひ児に対しても必要な制度だと考えます。

しかし、その制度導入の際に2万円の「便乗値上げ」を行うことに、理解ができず再考を求めたいです。

またいきなり1月1日から増額されては、今妊娠中の妊婦・家族にとってはたまったものではありません。通常10か月間の妊娠期間を考えると、あまりにも短すぎる告知期間であります。実際、2人目3人目の子供をつくれぬ理由に「経済的な理由」によるものが上位にあります。厚生労働省も「平成21年10月から出産一時金を増額する方向」を発表しました。せめて10か月先延ばしにしてもいいのではないのでしょうか?

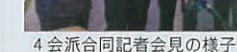
県立病院は公営企業として健全な財政運営を求められるのは理解できますが、安心して子供を産み育てるという国の少子化対策、県の子育て支援に逆行する施策あり、本来ならば、県はこのような時こそ他の医療機関に「便乗値上げ」抑制を呼びかける立場であって、迎合するべきではないと考えます。残念ながら反対少数で押し切られましたが、今後も本県の子育て対策の充実を訴えてまいります。



議員定数・選挙区調査特別委員会

12月16日に開催された特別委員会で、自民案が単独(自民党以外の会派の委員は退席)で可決されました。議員定数については、すでに45議席から6議席削減して「39議席」にする案で合意していました。(年間約1億円の経費削減効果になります。)

しかし、選挙区については市町村合併及び道州制導入を視野に入れ、隣接する選挙区を合区して16選挙区から「9選挙区」にする案を3会派(愛みやざき、社民党、民主党)統一案として主張していましたが、中山間地域に配慮してほしいという声を受けて「12選挙区」とする修正案をまとめて公明党の合意も得ました。それでも、自民党が1選挙区で定数1人のいわゆる1人区堅持を主張したため合意を得る事ができませんでした。時代の流れに逆行する結果となり残念ですが、これが最終決定ではありませんので、さらなる見直しを訴えていきます。



4会派合同記者会見の様子



特別委員会の様子

愛みやセミナー

昨年12月3日(水)、川南町トントロンドームにて県政報告会を開催しました。500名を超える方にお越し頂き、誠にありがとうございました。4名がそれぞれ壇上に立ち、県政の現状、県政に対する想いを訴えました。

- 松田議員
  - 議会改革について
  - ~政務調査費、応召旅費の見直し~
  - 農業振興と販路・市場開拓について
- 武井議員
  - 東国原県政検証
  - 観光再興策について
- 西村議員
  - 少子化対策、子育て支援について
  - 環境保全・新エネルギー開発の取り組みについて
- 図師議員
  - 議員定数及び選挙区見直しについて
  - デンマーク研修報告
  - ~在宅での看取りのために~

今後も県内各地で報告会を開催しますので、お気軽にご参加下さい。

次回告知 愛みやざき県政報告会 日時:平成21年1月17日(土)午後6時開場 午後6時30分開始・終了後懇親会 場所:JA日向会館(日向市駅東口横 日向市鶴町1-3-12 tel.0982-55-2500) 愛みやセミナーin日向 会費:1,000円(懇親会に参加される方のみ)

お知らせ Information

好評更新中!

愛みやざき オフィシャルサイト

議日程や県政報告会のお知らせなどをしております。是非ご覧下さい。

連絡先 Where to make contact

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号  
宮崎県議会「愛みやざき」控室  
TEL/FAX 0985-26-7225  
http://www.aimiyazaki.com  
info@aimiyazaki.com

皆様からのご意見お待ちしております